

# 平成26年3月期 第1四半期連結決算概要

平成25年8月5日  
住友化学株式会社

(単位：億円)

## 1. 業績

	平成25年3月期 第1四半期	平成26年3月期 第1四半期	増減
売上高	4,900	5,155	255
営業利益	130	246	116
経常利益	125	254	129
四半期(当期)純利益	9	78	69
1株当たり四半期(当期)純利益	0円55銭	4円76銭	4円21銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	0.2%	1.5%	1.3%
平均為替レート(円/＄)	80.18	98.78	—
ナフサ価格(円/KL)	60,600	65,500	—

平成26年3月期 (予想)	平成25年3月期
23,500	19,525
900	450
900	503
300	△511
18円35銭	△31円25銭
5.7%	△10.4%
95.00	82.91
65,000	57,500

## 2. 部門別売上高・営業利益

(単位：億円)

		平成25年3月期 第1四半期	平成26年3月期 第1四半期	増減
基礎化学	売上高	666	668	3
	営業利益	△25	△21	5
石油化学	売上高	1,775	1,774	△1
	営業利益	1	21	20
情報電子化学	売上高	703	861	158
	営業利益	12	100	89
健康・農業 関連事業	売上高	672	760	88
	営業利益	65	81	16
医薬品	売上高	968	976	8
	営業利益	126	107	△19
その他	売上高	117	117	△0
	営業利益	12	9	△3
全社費用等	売上高	—	—	—
	営業利益	△60	△52	7
合計	売上高	4,900	5,155	255
	営業利益	130	246	116

平成26年3月期 (予想)	平成25年3月期
3,300	2,635
0	△64
8,500	6,939
50	△32
3,900	3,000
340	117
3,350	2,626
340	263
3,950	3,786
320	309
500	540
50	80
—	—
△200	△222
23,500	19,525
900	450

### 3. 要約連結損益計算書

(単位：億円)

	平成25年3月期 第1四半期	平成26年3月期 第1四半期	増 減
売 上 高	4,900	5,155	255
営 業 利 益	130	246	116
持 分 法 投 資 損 益	22	△4	△26
為 替 差 損 益	△16	14	31
そ の 他	△11	△2	9
経 常 利 益	125	254	129
事 業 構 造 改 善 費 用	△14	△9	5
減 損 損 失	△4	△4	0
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	106	241	134
法 人 税 等	△61	△115	△54
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 利 益	46	126	81
少 数 株 主 利 益	△37	△48	△12
四 半 期 純 利 益	9	78	69

### 4. 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成25年3月期末 現 在	平成25年6月期末 現 在	増 減		平成25年3月期末 現 在	平成25年6月期末 現 在	増 減
( 資 産 の 部 )				( 負 債 の 部 )			
流 動 資 産	11,088	11,630	542	支 払 手 形 及 び 金	2,561	2,373	△189
現 金 及 び 預 金	749	875	126	有 利 子 負 債	10,606	11,394	789
受 取 手 形 及 び 金	4,043	4,200	156	そ の 他	4,079	4,204	125
た な 卸 資 産	4,105	4,218	113	負 債 合 計	17,246	17,972	726
そ の 他	2,191	2,337	147	( 純 資 産 の 部 )			
固 定 資 産	13,633	14,640	1,007	株 主 資 本	5,245	5,299	54
有 形 固 定 資 産	6,402	6,883	481	その他の包括利益累計額	△280	295	575
無 形 固 定 資 産	1,851	1,963	112	少 数 株 主 持 分	2,510	2,704	195
投 資 そ の 他 の 産	5,379	5,793	414	純 資 産 合 計	7,475	8,298	823
資 産 合 計	24,721	26,270	1,549	負 債 ・ 純 資 産 合 計	24,721	26,270	1,549

## 5. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成25年3月期 第1四半期	平成26年3月期 第1四半期	増減	平成25年3月期
営業キャッシュ・フロー	151	74	△77	1,716
投資キャッシュ・フロー	△482	△388	94	△1,658
差引(フリー・キャッシュ・フロー)	△331	△314	17	58
財務キャッシュ・フロー	329	398	68	△360
その他の	35	96	60	89
現金及び現金同等物の増減	34	180	146	△213



# 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 住友化学株式会社

コード番号 4005 URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 十倉 雅和

問合せ先責任者 (役職名) 経理室部長

(氏名) 佐々木 啓吾

TEL 03-5543-5265

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	515,506	5.2	24,588	89.0	25,403	103.8	7,777	760.3
25年3月期第1四半期	489,959	△2.4	13,008	△62.6	12,465	△68.0	904	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 53,802百万円 (89.3%) 25年3月期第1四半期 28,415百万円 (157.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	4.76	4.69
25年3月期第1四半期	0.55	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,626,977	829,813	21.3
25年3月期	2,472,091	747,482	20.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 559,377百万円 25年3月期 496,500百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	0.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	6.00	—	3.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,150,000	19.6	35,000	43.0	25,000	31.9	10,000	—	6.12
通期	2,350,000	20.4	90,000	99.9	90,000	79.1	30,000	—	18.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	1,655,446,177 株	25年3月期	1,655,446,177 株
26年3月期1Q	20,853,419 株	25年3月期	20,840,472 株
26年3月期1Q	1,634,596,502 株	25年3月期1Q	1,634,645,337 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等には重大な影響を与えうる主要な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

## 【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(セグメント情報等).....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べ255億円増加し、5,155億円となりました。損益面では、営業利益は246億円、経常利益は254億円、四半期純利益は78億円となり、それぞれ前年同四半期を上回りました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の業績の概況は次のとおりです。

#### (基礎化学)

メタクリルや合成繊維原料は市況の低迷が続き、出荷も低調に推移しました。アルミニウムも出荷が減少しました。一方、円高の是正による在外子会社の邦貨換算差の影響がありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ、ほぼ横這いの668億円となりました。また、営業損益は21億円の損失となりました。

#### (石油化学)

合成樹脂や石油化学品は原料価格の上昇により市況が上昇しましたが、ペトロ・ラービグ社における設備修繕の影響等により海外子会社の出荷が減少しました。また、円高の是正による在外子会社の邦貨換算差の影響がありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ、ほぼ横這いの1,774億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ20億円増加し21億円となりました。

#### (情報電子化学)

液晶ディスプレイ材料である偏光フィルムは需要の増加により販売が増加しました。また、タッチセンサーパネル設備の稼働が前年度の第3四半期から本格化したため販売が増加しました。この結果、円高是正の影響も加わり、売上高は前年同四半期に比べ158億円増加し861億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ89億円増加し100億円となりました。

#### (健康・農業関連事業)

農薬は生産能力の増強や拡販により海外で除草剤を中心に出荷が増加しました。一方、メチオニン（飼料添加物）は市況が軟化しました。また、円高の是正による在外子会社の邦貨換算差の影響もありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ88億円増加し760億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ16億円増加し81億円となりました。

#### (医薬品)

国内では、昨年12月に発売したアイミクス（高血圧症治療剤）に加え、トレリーフ（パーキンソン病治療剤）やメトグルコ（ビッグアニド系経口血糖降下剤）が大きく伸長しましたが、既存品の出荷減少の影響が大きく、販売が減少しました。北米では、ゾペネックス（短時間作用型β作動薬）の出荷が独占販売期間の終了により大きく減少しましたが、ラツーダ（非定型抗精神病薬）の出荷が引き続き拡大したほか、円高の是正による邦貨換算差の影響もありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ8億円増加し976億円となりましたが、営業利益は前年同四半期に比べ19億円減少し107億円となりました。

#### (その他)

上記5部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。これらの売上高は前年同四半期に比べ、ほぼ横這いの117億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ3億円減少し、9億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,549億円増加し2兆6,270億円となりました。在外子会社および関連会社の換算レートが前連結会計年度末に比べ円安となったことが主な要因です。

負債は前連結会計年度末に比べ726億円増加し1兆7,972億円となりました。有利子負債（短期借入金、1年内償還予定の社債、コマーシャル・ペーパー、社債および長期借入金の合計でリース債務を除く）が前連結会計年度末に比べ789億円増加し、1兆1,394億円となったことが主な要因であります。

純資産（少数株主持分を含む）は、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が改善したことにより、前連結会計年度末に比べ823億円増加し8,298億円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.2ポイント上昇し、21.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ・ 税金費用の計算

一部の連結子会社では、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,932	87,537
受取手形及び売掛金	404,340	419,950
有価証券	86,464	79,592
商品及び製品	300,520	312,724
仕掛品	15,093	14,736
原材料及び貯蔵品	94,856	94,329
その他	133,991	155,607
貸倒引当金	△1,379	△1,473
流動資産合計	1,108,817	1,163,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	217,932	233,648
機械装置及び運搬具（純額）	235,562	241,490
その他（純額）	186,730	213,189
有形固定資産合計	640,224	688,327
無形固定資産		
のれん	79,223	88,835
その他	105,888	107,493
無形固定資産合計	185,111	196,328
投資その他の資産		
投資有価証券	396,165	425,761
その他	142,860	154,644
貸倒引当金	△1,086	△1,085
投資その他の資産合計	537,939	579,320
固定資産合計	1,363,274	1,463,975
資産合計	2,472,091	2,626,977

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	256,136	237,286
短期借入金	191,391	255,721
1年内償還予定の社債	50,000	35,000
コマーシャル・ペーパー	112,000	120,000
未払法人税等	8,396	8,572
引当金	54,160	51,403
その他	197,944	204,514
流動負債合計	870,027	912,496
固定負債		
社債	347,000	382,000
長期借入金	360,176	346,715
退職給付引当金	30,804	31,268
その他の引当金	13,703	12,504
その他	102,899	112,181
固定負債合計	854,582	884,668
負債合計	1,724,609	1,797,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	89,699	89,699
資本剰余金	23,695	23,695
利益剰余金	419,893	425,284
自己株式	△8,773	△8,777
株主資本合計	524,514	529,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,150	67,328
繰延ヘッジ損益	729	535
土地再評価差額金	4,130	4,130
為替換算調整勘定	△93,023	△42,517
その他の包括利益累計額合計	△28,014	29,476
少数株主持分	250,982	270,436
純資産合計	747,482	829,813
負債純資産合計	2,472,091	2,626,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	489,959	515,506
売上原価	365,304	373,104
売上総利益	124,655	142,402
販売費及び一般管理費	111,647	117,814
営業利益	13,008	24,588
営業外収益		
受取利息	444	463
受取配当金	1,876	1,648
持分法による投資利益	2,227	—
為替差益	—	1,421
雑収入	2,257	2,966
営業外収益合計	6,804	6,498
営業外費用		
支払利息	3,182	3,140
コマーシャル・ペーパー利息	20	39
持分法による投資損失	—	370
為替差損	1,637	—
雑損失	2,508	2,134
営業外費用合計	7,347	5,683
経常利益	12,465	25,403
特別損失		
事業構造改善費用	1,421	934
減損損失	414	395
特別損失合計	1,835	1,329
税金等調整前四半期純利益	10,630	24,074
法人税等	6,071	11,458
少数株主損益調整前四半期純利益	4,559	12,616
少数株主利益	3,655	4,839
四半期純利益	904	7,777

四半期連結包括利益計算書  
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4, 559	12, 616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5, 981	8, 928
繰延ヘッジ損益	△234	△235
為替換算調整勘定	23, 632	21, 059
持分法適用会社に対する持分相当額	6, 439	11, 434
その他の包括利益合計	23, 856	41, 186
四半期包括利益	28, 415	53, 802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20, 042	41, 252
少数株主に係る四半期包括利益	8, 373	12, 550

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はない。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	66,554	177,472	70,270	67,153	96,837	478,286	11,673	—	489,959
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,103	1,210	1,086	1,346	—	6,745	14,086	△20,831	—
計	69,657	178,682	71,356	68,499	96,837	485,031	25,759	△20,831	489,959
セグメント利益 又は損失(△)	△2,543	108	1,152	6,499	12,625	17,841	1,153	△5,986	13,008

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。

2 セグメント利益又は損失の調整額△5,986百万円には、セグメント間取引消去△102百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,884百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

医薬品セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について回収可能性を評価し、414百万円を減損損失に計上している。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	66,804	177,376	86,056	75,999	97,619	503,854	11,652	—	515,506
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,611	1,534	952	613	—	6,710	13,202	△19,912	—
計	70,415	178,910	87,008	76,612	97,619	510,564	24,854	△19,912	515,506
セグメント利益 又は損失(△)	△2,082	2,110	10,036	8,133	10,741	28,938	898	△5,248	24,588

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。

2 セグメント利益又は損失の調整額△5,248百万円には、セグメント間取引消去△183百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,065百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。